令和４年度全国巡回バドミントン講習会

（バドミントン・キャラバン山口会場2022）

　開催要項

１．趣　旨

全国でのバドミントンのさらなる普及とバドミントンの価値を高めるために、バドミントンをしたことのない方をバドミントンへ導くとともに、指導者の質の向上を目指す。５年間で全国４７都道府県を巡回するように実施する。その際、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、開催都道府県、日本スポーツ協会、日本バドミントン協会の感染防止ガイドラインに基づいて開催する。

２．主　催：公益財団法人日本バドミントン協会

３．主　管：山口県バドミントン協会

４．後　援： 周南市教育委員会

５．開催日・開催会場

令和４年１２月２５日（日）山口県・周南市学び交流プラザ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　山口県周南市中央町4番１０号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号　０８３４－６３－１１８８

６．内　容：次の（１）～（４）の内容を行うことができる。

1. はじめてのバドミントン教室

小学生あるいは小学生の親子で、バドミントンをあまり行なっていない人向けの教室で、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）がコーチする。

1. 指導者講習会

現在指導をしている人、これから指導者になろうとする人、誰でも参加できる講習会である。（公認スポーツ指導者バドミントンの資格更新の対象研修でもある）

1. バドミントン・ジュニア教室

バドミントンをしているジュニア（小中高）のための講習会を行う。

（４）オリンピック学習等

オリンピアンによる講演と、未来想像アカデミー生によるプレゼンテーションなど、バドミントンの魅力を伝えるプログラムを行う。

７．参加者

バドミントンが好きな人はもちろん、バドミントン未経験の方でも参加できるプログラムを用意して実施する。但し、各教室には定員を設定する。「初めてのバドミントン教室」８０名　「ジュニア教室」８０名　「指導者講習会」４０名

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当日発熱などの症状がある場合は、参加することはできない。

８．公認スポーツ指導者資格更新の研修

このキャラバンは、公認スポーツ指導者（バドミントン：コーチ１、コーチ２）の資格更新研修として認定されている。資格更新の手続きなどは開催する都道府県バドミントン協会が担当する。

９．申込締切

申込締切は、原則開催日の２週間前とする。（１２月１０日土曜日）また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各コースとも人数制限をし、定員を設ける。

10．参加料

参加料は原則無料とする。

※公認スポーツ指導者（バドミントン：コーチ１、コーチ２）の資格更新を希望する者は参加料：２０００円が必要です。

11．申込方法および申込先

　　山口県バドミントン協会のホームページから申込用紙をダウンロードしメール、ＦＡＸ、郵送のいずれかで申し込む。（バドミントンキャラバンちらしの裏面にある申込用紙を利用してＦＡＸまたは郵送で申し込まれてもかまいません）

　　メール　[kawamoto.yasushi.pc@m.ysn21.jp](mailto:kawamoto.yasushi.pc@m.ysn21.jp)

ＦＡＸ　０８３３－４４－３８１４

　　郵　送　〒744-0032

　　　　　　下松市生野屋西4丁目１０－１

　　　　　　河本　泰　宛て

12．傷害保険

　　　主催者（開催地）にて傷害保険に加入する。事故があった場合には、傷害保険の保証範囲内で対応する。

13．問い合わせ先

　 （１）開催地の都道府県バドミントン協会

　　　　　　　　山口県バドミントン協会　指導普及部　担当　河本泰

　　　　　　　　　住所：山口県下松市生野屋西４丁目１０－１

　　　　　　　　　℡　090-6404-0329　fax　0833-44-3814

（２）バドミントン・キャラバン隊：caravan@badminton.or.jp

都合により、内容が変更になることもあります。ご了承ください。

バドミントンキャラバンでの新型コロナ感染防止対策

参加者募集に関して

・人数制限について

　収容人数の50％以内　、　「１コート8人」を踏まえた人数設定

・参加同意書（個人情報）や健康状態確認シートを協会HP等に掲載し利用する

　遵守してほしいことを記載　→　同意したうえで参加してもらう

遵守事項

・県外からの参加者、スタッフは２週間前から行動記録をつけておくこと→記録表

・運動時以外、マスクを必ず着用すること

・手洗いやアルコール等による手指消毒を積極的に行うこと

・大声での会話や応援などはしないこと

・ゴミは各自で持ち帰ること

・靴は下駄箱を利用せず、ビニール袋に入れ、各自で管理すること

・フィジカル・ディスタンス（２ｍ以上）を確保すること

・プログラム終了後、速やかに帰宅すること

・体調がすぐれない、味覚や嗅覚に異常がある、発熱や風邪症状等がある場合は、症状が軽度であっても参加できない。また同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合も参加できない。

コロナ対策のための会場準備

・共用物品の消毒

・体育館出入り口に消毒液と靴袋を置いておく

・受付…飛沫防止パネルなどを設置、ビニール手袋を用意（資料の受け渡しの際に使用）、参加者が距離をおいて並べるように、目印等をつける

・入口に検温実施のための物品等を準備する。

・トイレと更衣室に石鹸やアルコール等の手指消毒液がなければ、設置する

受付について

・人数が多い場合、受付は時間帯を分けて行う（混雑を避けるため、事前に来場時間を連絡しておく等）

・参加同意書（氏名・連絡先）と健康状態確認シートを回収する

　…開催地都道府県協会が最低１か月以上は保管し、万が一感染が発生した場合に備える

・受付時に参加者一人ずつ検温する。３７.５℃を超える発熱がある場合には参加を遠慮してもらう。